

遠足のしおり



2019年11月24日(日)
秋の滝山城跡散策と食事会
滝山公園・滝山城跡・かごの屋八王子

4年3組()

なまえ

秋の滝山城跡散策とお食事会

- 日時 11月24日(日) *雨でも行きます。
- 集合 JR中央線日野駅前 バス停 ④番「宇津木台」行き
のところへ・・・・・・・・ 8時40分までに集合
- ・日野駅でトイレを済ませておいてください。
 - ・駅改札口を出て左へ進むと ④番 バス停があります。
- コース 日野駅前 8:47— (バス:宇津木台行)— 9:10 宇津木台
バス停 — (徒歩・丘陵散策約2K)— 滝山公園入口 —
(徒歩)— 10:20 滝山城跡 (中の丸一本丸一千畳敷)
11:25 — (徒歩) 滝山城跡下 11:51— (バス)— 12:15
八王子横山町 — 12:30 「かごの屋・八王子八日町店」
食事会 14:30 — 解散 →八王子駅(京王またはJRへ)

費用 食事代 4000円(飲み放題) バス代560円(往復)

●宇津木台行バスの経路

08:47発 日野駅 — 08:49着 栄町4丁目(日野市) — 08:50着 東光寺小入口 — 08:51着 栄町5丁目(日野市) — 08:53着 小宮町東 — 08:54着 小宮町 — 08:56着 多摩大橋 — 08:58着 宇津木台東 — 09:00着 宇津木台中央 — 09:02着 平町 — 09:08着 宇津木台

●滝山城跡下から八王子駅行バスの経路

11:51発 滝山城跡下 — 11:52着 丹木2丁目 — 11:53着 丹木1丁目 — 11:55着 純心女子学園 — 11:56着 新道丹木町 — 11:57着 梅坪町 — 12:00着 道の駅八王子滝山入口 — 12:00着 天神前 — 12:04着 八王子郵便局 — 12:06着

浅川大橋南 — 12:08着 横山町 [ここで下車]
12:12着 八王子駅北口 — 12:14着 京王八王子駅

まず クイズ

東京には城・城址がいくつあるでしょうか。(区市町村すべて含む)

- ① 1～10 ② 11～20 ③ 21～30
④ 31～40 ⑤ 41～50 ⑥ 51以上

* 回答は5ページに

●滝山城について

滝山城（たきやまじょう）は、現在の東京都八王子市丹木町にあった戦国時代の日本の城である。2017年（平成29年）「続日本100名城」（123番）に選定された。

多摩川と秋川の合流点にある加住丘陵の複雑な地形を巧みに利用した天然の要塞で、関東随一の規模を誇ったという。

現在、遺構として本丸・中の丸・千畳敷跡空堀などが残っており、国の史跡に指定されている（1951年（昭和26年）6月9日指定）。大部分が東京都立公園「滝山自然公園」となり桜の名所である。

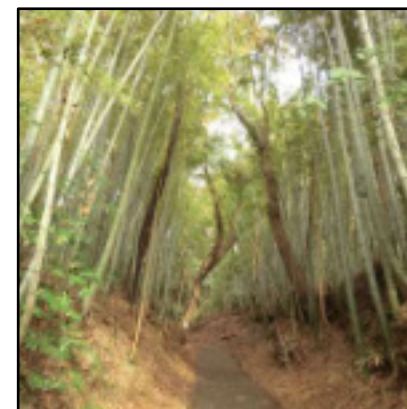
1521年（永正18年）山内上杉氏の重臣で、武蔵国の守護代大石定重が築城し、高月城から移ったという。1546年（天文15年）北条氏康が河越の夜戦（河越城の戦い）で扇谷上杉氏を滅ぼし、山内上杉氏



の勢力を武蔵から排除すると、大石定久は北条氏康の三男・氏照を娘婿に迎え、事実上、大石氏は北条氏の軍門に下った。1558年（永禄元年）頃、北条氏照は城の大改修を実施した。

1569年（永禄12年）小田原攻撃に向かう武田信玄軍2万が滝山城の北側の拝島に陣を敷き、別働隊の小山田信茂隊1千が小仏峠から進入、これに対し北条方は廿里で迎撃したが一蹴され（廿里古戦場）、滝山城、三の丸まで攻め込まれ落城寸前にまで追い込まれたが、2千の寡兵で凌いだ。しかしこの戦いは、滝山城の防御体制が不十分であることを痛感させ、八王子城を築城し移転するきっかけとなったといわれている。

なお、近年において齋藤慎一が1561年（永禄4年）春に上杉謙信が小田原城を攻めた際に滝山城下を経由した形跡があるのに合戦が起きていないこと、同年7月に北条氏康が三田氏を攻めた際に滝山城よりも遠い由井城（浄福寺城とみられる）に本営を置いていることなど、滝山城が存在していれば起こり得ない事例を挙げて、同年当時滝山城はまだ存在していなかったとした。齋藤は、小田原城から由井の北条氏照への棟別銭免除の指示を示した朱印状が出された1563年（永禄6年）4月より北条氏照が滝山城への年貢納入を命じた発給文書が出された1567年（永禄10年）9月までの4年余りの時期に上杉謙信の南下に対抗するために滝山城が築城されたとする説を提示している。



●東京の城・城跡・城址

- 板橋区 ①赤塚城 ②志村城（板橋城、篠田城） 江戸川区
 ③長島高城 葛飾区 ④葛西城 北区 ⑤平塚城 渋谷区
 ⑥渋谷城（金王丸城） 世田谷区 ⑦奥沢城 ⑧世田谷城
 千代田区 ⑨江戸城 練馬区 ⑩石神井城 ⑪練馬城
 港区 ⑫品川台場 あきる野市 ⑬網代城 ⑭阿伎留城 ⑮今井城
 ⑯戸倉城 稲城市 ⑰小沢城（所在地は川崎市多摩区だが、敷地の一部が稲城市にまたがっていたと思われる）
 青梅市 ⑱勝沼城 ⑲辛垣城 ⑳今井城 調布市 ㉑深大寺城
 八王子市 ㉒小田野城 ㉓片倉城 ㉔浄福寺城 ㉕高月城
 ㉖滝山城 ㉗八王子城 ㉘初沢城 日野市 ㉙高幡城
 ㉚平山城（京王線には平山城址公園という駅が存在し、平山城址公園という公園は実際に存在するが、平山城がいかの様なものだったかの詳細を示すものはほとんど残っておらず、本当に城があったかすらわかっていない） 町田市 ㉛小野路城
 ㉜小山田城 ㉝殿丸城 ㉞成瀬城 ㉟三輪城 ㊱元木山城

ということで・・・クイズの正解は ④ の 31～40 でした。



かぞの屋・八王子八日町店

042-686-3073

八王子市八日町10-3

JR「八王子駅」下車北口より

ユーロード経由八日町交差点すぐ



ほん まる き ぼし
本丸への木橋
 (最終的な砦へ導く橋)

滝山城跡強固



作図：中野之光

拡大図



※城跡は現在の公園と違う箇所があります。

解説

当時の木橋はもう少し下に架けられていた。おそらく、中の丸に敵が押し寄せてきたら本丸へ半分程度引き込むことができたと思われる。

人工的に掘られた大堀切の上に架けられており、本丸が最終的な砦となっていた様子がわかる。

「大堀切」はもっと深かったことが試掘によって確認されている。

城跡、城址、城趾など違いがあるわけですが、どれも同じような場所を指しています。突き詰めて意味を調べてみると、少しのニュアンスの違いはあるものの、どの読み方でも「城の跡地」を指しており、どの表現方法を使用しても、大体相手には伝わるものでしょう。

<読み方> ・城跡→じょうせき、しろあと ・城址、城趾→じょうし

<違い> ・ほぼ同じ「城の跡地」や「城の土台」を指している

<細かな違い> ・城址、城跡→城があった証を指す

・城趾→城の土台そのものを指す

<常用漢字的な違い>

・跡→常用漢字 ・址→常用漢字ではない

・「城址」であっても

「城跡」で示されることがある



◆次回 ハイキングは

3月27日(金) 橋本の城山「かたくりの里」を

予定しています。

詳細は「3月号」に掲載します。日曜日でなく平日の実施となります。今から予定表に入れておいてください。

*昨年11月の滝山城跡散策は天候の都合で中止となりました。お食事会は八王子の「かごの屋」で総勢7名で楽しむことができました。

(写真)

